

ひがしき

# 東木ひさよ

おれんじ通信 第28号

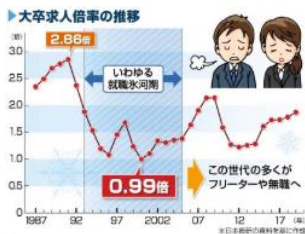


## 誰ひとり取り残さない社会づくりの促進を！

令和元年12月議会では、長期化・深刻化する「就職氷河期世代」の支援、当事者の目線を尊重する「障がい者」と「障がい者団体」への支援など、「地域共生社会」のあり方について取り上げました。

## 「就職氷河期世代」が安心して未来を描ける藤沢へ！

### 市内の35歳から44歳までの非正規雇用者の割合は、推計35.5%。



昨年6月に、国が「就職氷河期世代支援プログラム」の指針を示し、3年間の集中支援で全国30万人の正社員化という目標を掲げました。「就職氷河期世代」とは、バブル崩壊後の1990年代後半～2000年代前半に高校・大学を卒業。深刻な就職難で不本意にも非正規雇用、転職を繰り返す、低賃金、過酷な労働現場で精神を病む、ひきこもって社会から離れる等々、多くの困難を経験されています。現在30代半ば

～40歳後半に達しながら、将来設計を描けず不安を抱えている方もいます。「ロスジェネ」「解けない氷河」とも言われます。藤沢市のこの世代の実態を問うたところ、推計で「正規雇用」36,449人に対し「非正規雇用」,14,887人（本市の人口統計と神奈川県就業構造基本調査（平成29年度）より）。多くの該当者がいます。今すぐにできることを始めるべきと訴え、下記の通り提案しました。

### 直近の課題解決に向けた提案

- ①市内の「就職氷河期世代」の実態と支援ニーズの把握。
- ②藤沢市役所および市の外郭団体における中途採用枠の確保。
- ③企業と「就職氷河期世代」のマッチング促進策として、湘南合同就職面接会の最大活用。
- ④商工会議所などの経済団体への働きかけや採用事業主への雇用関係助成金の情報の提供。



最近の有識者の研究から、就職氷河期世代は日本経済が低迷した「失われた20年」の「犠牲者」です。しかし、これまでは、自己責任等個人の問題とされがちでした。

対象の方の支援をスムーズに進めるために、就職氷河期世代の課題の「深刻さ」と重要性を社会全体で共有すること。また、就労支援から、生活困窮やひきこもり対策まで、一人ひとりのニーズに応じた支援ができるよう、市として体系的に政策化して総力挙げて取り組むべきと訴えました。

### 支援をスムーズに行うための提案

- ①各企業・経済団体から、一般市民を対象にした就職氷河期世代をテーマに、講演会・シンポジウムを開催すること。
- ②精神疾患やひきこもり等重度化した方々への、きめ細やかな伴走型の支援の充実。
- ③庁内各部署が横断的に連絡を密にして、総合的に取り組みを行うこと。



## こころ温かな「地域共生社会」の実現に向けて！

### 藤沢市役所分庁舎「地域福祉プラザ」に、障がい者団体の活動拠点を。



藤沢市障がい者福祉団体連絡会にある 8 つの団体は、長年に亘り(一番古くて 70 年)、活動拠点もないまま、当事者の声を行政や社会に発信し、藤沢市の障がい福祉の施策と歴史を築いて下さいました。

福祉の施策の充実にあつては、当事者の声や団体の役割は大変大きいはず。ところが本年 1 月に開設した「地域福祉プラザ」には、公言していた障がい者団体活動拠点が未設置です。そこで、以下について強く要望しました。

- ①「障がい者団体活動拠点」は、団体の「象徴」であり長年の活動の「証」です。障がいのある方が「気軽に相談に立ち寄れる場所」として早期設置を。
- ②「地域福祉プラザ」は住民参加型で利用者の声を反映した仕組みづくりを。

また、地域共生社会の実現に向けては、まず、

- ①地域の方々の、障がいについて学ぶ啓発・交流の機会の創出。
- ②障がい者のご家族の持つ「生きた知識・技術・スキル」をコミュニティソーシャルワーカーなど地域で支援に取り組む専門職が学ぶこと。



が必要です。

さらには「多様な主体」とか「ごちゃまぜ福祉」など「障がい者」を「子ども」「高齢者」等と、単に横並びにすると埋没してしまう。

「みんなのトイレ」が使えなくなっているように、結果的にはじき出されたり、生きづらくなります。

「すべての方が自分らしく暮らせる社会」を実現するためには、

- ③障がい者の方々が安心できる環境を最優先すること。
- ④ハンディキャップのある方を理解し守りあう文化を粘り強く醸成すること。

が重要と、訴えました。

障がい者の課題は、千差万別でもあり、難しさがありますが、一人ひとりの個性や輝きを最大に発揮できる社会を目指し、粘り強く取り組んで参ります。

ひがしき  
**東木ひさよプロフィール**

Facebook ➡



藤沢市議会議員 3 期。北海道旭川市出身、北海道立旭川東高、明治学院大学卒。  
R 元年度、議会運営委員会委員、厚生環境常任委員会委員、災害対策等特別委員会副委員長

(H25、26 年度厚生環境常任委員会副委員長、H27、H29 年度子ども文教常任委員会委員長、H28 年度総務常任委員会副委員長、H30 年度建設経済常任委員会副委員長等を歴任)

東木ひさよ  
ホームページ



<http://higashiki.com>

QR コードは  
こちら ➡



&



(0466)88-1125



hisayo2011@yahoo.co.jp